

史料群番号 45

史料群名	つぼたむらやくば 坪田村役場文書	旧所蔵者	坪田村役場
探訪時住所	東京都三宅島坪田村		
現在の住所	東京都三宅島三宅村		
探訪年月	昭和25（1950）年3月		
史料の年代	明治23（1890）年～大正7（1918）年	史料の総点数	21点
年代の内訳	近代 21点	筆写稿本	あり
既刊行目録	「昭和五十三年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

水産資料館所蔵古文書目録の内容は、現在、中央水産研究所に所蔵されている古文書のものとは一致する。おそらく探訪から現在まで、史料の散逸・移動は生じていないと考えられる。

史料群の概要

坪田村は三宅島南部に位置し、近世から昭和31年まで存続した。現在は三宅村に含まれている。三宅島は明治11年に静岡県から東京府に移管された。

史料の形態は、すべてが行政書類の綴りである。「昭和五十三年三月水産資料館所蔵古文書目録」の巻末にある本史料群の解説には「坪田村に所蔵される明治二十三年より大正七年にわたる七冊の行政書類である。その内容は、村役人任命・辞任関係など公的書類が多いが、牧場設置・植林など坪田村の釜方（山方）としての性格を窺わせるものが多くみうけられる。また、明治三十七年から大正七年に至る若者組、少女組の役員任命など、村民の生活諸相を知らせる資料も多い」と書かれている。

